

平成21年度国土交通省の土木関係における 仕様書・技術基準・指針等の改定の概要

国土交通省 大臣官房 技術調査課

平成21年度を迎え、国土交通省では土木工事共通仕様書をはじめとし、各種技術基準、土木工事安全施工技術指針及び各種積算基準等が改定されました。ここでは、土木工事に関係が深い仕様書等の改定の概要について紹介します。

【土木工事共通仕様書】

土木工事共通仕様書は、国土交通省の地方整備局が発注する工事の契約において、契約図書の一部となるものであり、契約条件の明確化等に関して定期的に改定を実施しています。

今回の改定は、従前から定期的に行われている「工事、工種体系との整合による改定」「技術基準の改訂に伴う対応」、「一般化している規定の仕様書への掲載」に加え、「工事書類の簡素化への対応」及び「共通仕様書のスリム化」を図っています。

また、土木工事共通仕様書の改訂に併せ、「土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値、品質管理基準及び規格値、写真管理基準）」についても改定を行いました。

【土木工事安全施工技術指針】

土木工事安全施工技術指針は、土木工事の安全施工についての一般的な技術的内容を示した指針であり、直轄工事の請負業者が安全確保に努める際の参考にすべきものとして、共通仕様書に位置づけられているものです。

同指針は、昭和43年に制定され、その後、労働安全衛生法等の改正に伴い、昭和50年から幾度と改正が行われてきましたが、平成13年の最終改定から7年が経過し、その間、多

くの関連法令等が見直されていることから、今般、時勢に即した指針とするために改定を行いました。今回新たに「架空線等上空施設」に対する安全確保についても追加されました。

【土木工事標準歩掛】

以下の11工種について、使用機械、労務等の種類や所要量を調査した施工合理化等の結果に基づき、改正及び新規制定を行いました。

鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）、切土及び発破防護柵工、濁水処理工、消波根固めブロック工、伐木除根工、情報ボックス工、ニューマチックケーソン工、橋梁補強工（足場工）、歩道橋（測道橋）架設工、砂防ソイルセメント工（新規制定）、PC橋架設工

【土木工事間接工事費率】

近年の不調・不落工事の増加等を踏まえ、「共通仮設費（率分）」や「現場管理費」の間接工事費率について、実態調査に基づき、3大都市圏で行う鋼橋架設工事、舗装工事、電線共同溝工事、道路維持工事を対象に、共通仮設費（率分）及び現場管理費に補正係数を乗じる改正を行いました。

その他に、調査・設計業務等の積算基準、設計業務共通仕様書及び測量共通仕様書等についても改定を行いました。請負契約の際には改定内容について確認のうえ、旧来の仕様書等と間違わないようお願いいたします。